

平成22年度 実践目標自己評価結果報告

テーマ	進路を見据えた学習指導
目標(ねらい)	生徒個々の進路意識を高め、社会性の涵養を図る。

A: 良くあてはまる B: ややあてはまる C: あまりあてはまらない D: まったくあてはまらない

分類	評価の観点	評価項目	実践目標	A	B	C	D
学校運営	教職員連携	教員・教科間連携状況	教員間教科間の互換理解がなされ、信頼関係の基づく教育活動を進める。	14% 6	33% 14	48% 20	5% 2
		会議の有効性	職員会議をはじめ各種会議を有効に機能させる。	13% 5	34% 14	50% 21	3% 1
生徒	生徒支援	学習指導について	学習指導において生徒の実態に合わせた指導方法の工夫・改善を行う。	31% 13	48% 20	21% 9	0% 0
		進路指導について	生徒一人ひとりの興味・関心・適性に応じた進路選択ができる支援体制を整える。	29% 12	57% 24	14% 6	0% 0
	生徒指導	生活指導について	生徒の生活指導において、教員の統一した見解を持ち、指導にあたる。	19% 8	41% 17	40% 17	0% 0
		家庭との連携状況	生徒指導において、家庭との連携を密に行い。信頼関係を築く。	36% 15	55% 23	9% 4	0% 0
教育	生徒会活動	生徒会活動支援状況	生徒会活動を通じて、生徒が主体的に活動できる支援を行う。	31% 13	53% 22	15% 6	1% 1
	その他	部活動	強化クラブを中心に部活動を活発化させ、学校の活性化を図る。	55% 23	33% 14	12% 5	0% 0

学校長所見	<p>90周年を期に</p> <p>健康・明朗で素直な女性</p> <p>物事に正確な判断が下せる知性ある女性</p> <p>広い視野を持った実行力ある女性</p> <p>古いものの良さを理解し新しいよいものを取り入れる包容力のある女性</p> <p>お互いに尊敬し合う礼儀正しい女性</p> <p>国際社会に貢献できる豊かな教養をそなえた女性</p> <p>の育成という教育方針を再確認し、進路意識の涵養の柱に据えた教育の実践を図った。</p>
平成23年度に向けて	教育内容の充実を計り、進路保障をより確かなものとし、その実績を募集に繋げる不断の努力を怠りなく行わなければならない。